

禪

—若き西田幾多郎の葛藤時代—

二〇一六年

二〇一七年

十一月一日(火) — 三月二十六日(日)

〔休館日〕毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(十二月二十九日—一月三日)



石川県
西田幾多郎
記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO
Museum of Philosophy

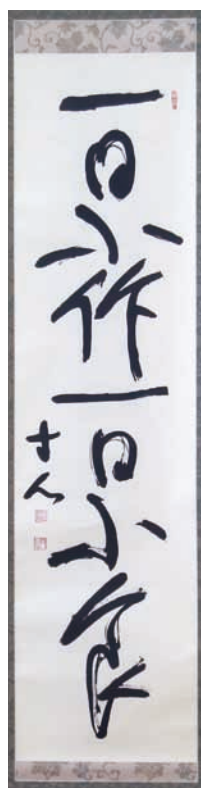
「禅 一若き西田幾多郎の葛藤時代—」

2016年11月1日[火]—2017年3月26日[日]

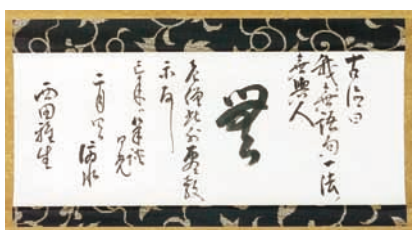
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）、年末年始（12月29日—1月3日）

西田幾多郎が参禅修行を始めた20代後半、就職はうまくいかず各地を遍歴し、結婚し子どもを持ったものの安定することへの葛藤を抱えていました。禅修行に励む日々は30代後半までの約10年間続き、一足先に参禅をしていた鈴木大拙からも大きな影響を受けています。後に大拙は禅（ZEN）を世界に広める思想家となり、幾多郎は日本を代表する哲学者となりますが、彼らにも互いに苦悩を伝え合う葛藤時代がありました。

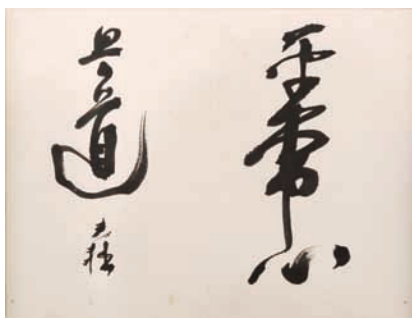
当展は鈴木大拙館（金沢市）との交流協定五周年を記念し、幾多郎と大拙の交流を紹介しながら、哲学者・西田幾多郎が禅と向き合った若き日々を描きます。



西田幾多郎書
「一日不作一日不食」（複製）



滴水禅師から西田幾多郎への手紙
明治30(1897)年2月4日



鈴木大拙書「平常心是道」



西田幾多郎書
「平常心是道」

【その他展示資料】

参禅日記（パネル）

修行の難しさを吐露する書簡

山本良吉宛明治32(1899)年9月15日

鈴木大拙英文著書『大乘仏教概論』

1907年／アメリカの大拙から幾多郎への献本 など



鈴木大拙館 D.T. SUZUKI MUSEUM

石川県西田幾多郎記念哲学館
交流協定5周年記念特別展

「思索と体験」

2016年11月16日[水]—2017年1月29日[日]

休館日：毎週月曜日（1月9日をのぞく）、年末年始（12月29日—1月3日）、1月10日

所在地：〒920-0964 石川県金沢市本多町3丁目4番20号

TEL：(076)221-8011 FAX：(076)221-8012

URL：<http://www.kanazawa-museum.jp/daisetz>

開館時間：午前9時30分から午後5時※入館は午後4時30分まで



設計：谷口吉生

石川県 西田幾多郎記念哲学館 Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1 TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320

URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>

E-mail nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

開館時間 ■ 9:00～17:30（入館は17:00まで）

観覧料 ■ 一般300円／高齢者（65歳以上）200円／高校生以下無料

交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC]—国道159号線（約20分）／のと里山海道 [白尾IC]—（約5分）

【JR利用】金沢駅—IRいしかわ鉄道線・七尾線（約25分）—宇野気駅—徒歩（約20分）—哲学館

交流協定
5周年記念
講演会

講師：横田南嶺氏（円覚寺管長）
1月29日（日）13時30分開演（13時開場）
石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホールにて
電話 076-283-6600 入場無料 ※要申込

ギャラリートーク

当展の見どころを案内します。
12月18日（日）「幾多郎と禅語」
講師：大熊 玄（副館長・立教大学准教授）
3月12日（日）「思索と体験」
講師：猪谷 聡（鈴木大拙館学芸員）
各日11時開始（40分程度）※申込不要

その他

2月4日（土）に禅文化体験会（坐禅会）を予定しています。
※要申込